

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標1 災害に強く、安全で安心な暮らしができるまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【防災・減災】復興計画の着実な推進と災害に強いまちをつくる	消防団員数	千曲市消防団に在籍する団員数	上昇↗	725 人	令和3年度	669 人	令和4年度	639 人	令和5年度	751 人	令和8年度	89.1%	85.1%	やや低調	①団員の声を集め、課題を整理し、消防団改善計画を策定した。 ②消防団員の減少に歯止めをかけるため、更なる対策の研究・実施が必要。 ③令和6年度は操法大会にに代わる訓練を実施する等、主要な課題に対して具体的なアプローチを開始する。	危機管理防災課	消防団員確保の取組状況を表す	分団からの入退団届による	A
		地区防災計画の策定件数	地域自らが策定した地区防災計画の件数	上昇↗	1 件	令和2年度	6 件	令和4年度	16 件	令和5年度	30 件	令和8年度	20.0%	53.3%	順調	①出前講座等で、策定支援をおこなった。 ②多忙な区長・自治会長の負担を軽減するため、当該計画策定について、さらなる支援が必要。 ③引き続き、出前講座等で、策定支援をおこなうとともに、当該計画の、より充実した策定マニュアルを作成する。	危機管理防災課	地区ごとの自主防災対応の取組状況を表す	地区ごとの計画策定実績による	A
		民間団体等との防災協定件数	民間団体等と締結中の防災協定の件数	上昇↗	43 件	令和2年度	53 件	令和4年度	56 件	令和5年度	50 件	令和8年度	106.0%	112.0%	目標達成	①戸倉上山田温泉旅館組合連合会のほか、企業2社との協定を締結した。 ②締結済みの協定であっても、有事における、双方の体制整備が、十分でないものが散見される。 ③体制整備が不十分な協定については、積極的に再調整等をおこなう。	危機管理防災課	防災体制整備の取組状況を表す	協定締結の実施件数	A
		耐震診断士派遣事業の実施件数	木造住宅耐震診断の実施件数	上昇↗	263 件	平成28年度～令和2年度の累計	34 件	令和4年度	54 件	令和5年度までの累計	300 件	令和4～8年度の累計	11.3%	18.0%	低調	①市報・ホームページやダイレクトメール等で周知している。 ②耐震診断後、改修工事に繋がりにくい。 ③引き続き市報・ホームページやダイレクトメール等で周知していく。	建築課	個人住宅の耐震化促進のための耐震診断状況を表す	耐震診断士派遣事業の実施件数	A
		耐震改修工事の補助件数	木造住宅耐震改修工事の補助件数	上昇↗	11 件	平成28年度～令和2年度の累計	2 件	令和4年度	4 件	令和5年度までの累計	20 件	令和4～8年度の累計	10.0%	20.0%	低調	①住宅耐震説明会を開催して耐震化を検討している建築主に説明した。 ②耐震診断後、改修工事に繋がりにくい。 ③相談できる業者を紹介してほしいという方に、県で実施している「木造住宅耐震リフォーム達人塾」に参加した業者リストを配布していく。	建築課	個人住宅の耐震改修工事実施状況を表す	耐震改修補助事業の実施件数	A
2	【安全・防犯】誰もが安全で、安心して暮らせるまちをつくる	市内での交通事故死亡者数	市内の年間交通死亡事故件数	改善↘	1 名	令和2年度	0 名	令和4年度	0 名	令和5年度	0 名	令和8年度	100.0%	100.0%	目標達成	①年4回の交通安全運動期間の街頭指導による啓発、小学校通学路の合同点検の実施、地域要望に基づく危険個所対応を実施。 ②交通事故から24時間を超過して亡くなった場合は件数に含まれないことが課題である。 ③事故原因の分析と警察・交通安全協会と連携し、市が出来る対策を立案し、予算を確保して、実施する必要がある。	市民生活課	交通死亡事故防止に向けた取組みの状況を表す	人身交通事故の市町村別発生状況(県警)	C
		市内での犯罪件数	市内の犯罪発生件数	改善↘	203 件	令和2年度	184 件	令和4年度	186 件	令和5年度	183 件	令和8年度	99.5%	98.4%	順調	①更埴防犯協会連合会と連携し、千曲市防犯協会の各支部と市が一体となり、「電話でお金詐欺被害防止街頭啓発活動」を実施した。また千曲市防犯協会の各支会の防犯パトロールや、啓発チラシの配布等を支援し、市民に対する防犯意識の普及・啓発に努めた。 ②SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺の被害件数・金額ともに急増しており、信じ込んでいる被害者への早期の周知・啓発が課題。 ③市HPやSNSによる周知・啓発を行う必要がある。	市民生活課	犯罪防止に向けた取組みの状況を表す	市町村別刑法犯認知件数(県警)	D
3	【交通】交流と生活に便利な交通ネットワークが整備されたまち	幹線の利用者数(大循環線)	大循環線(西回り、東回り)の運行便あたりの利用者数	上昇↗	10.9 人/便	平成29年度	9.7 人/便	令和4年度	8.8 人/便	令和5年度	11.0 人/便	令和5年度	88.2%	80.0%	やや低調	①デマンド型乗合タクシー実証運行の開始により、平日日中の運行を休止したバス更級戸倉線、上山田線の車両を、大循環線として運行し、利便性の向上を図った。 ②デマンド型乗合タクシーの本格運行に向けた検討結果によっては、大循環線の運行形態が従来に戻り、運行回数が減少する可能性があるため、総合的な視点で検討する必要がある。 ③市地域公共交通活性化協議会において、公共交通の維持確保改善に向けて、最適な交通体系が構築できるよう検討を進める。	総合政策課	市内主要幹線の利用実績を把握し、路線維持に努めるため	輸送実績を運行事業者からヒアリング、定期的な乗降調査など	A
		自転車の日常利用路線の整備延長	市民が日常的に自転車を利用する路線における自転車通行空間の整備延長	上昇↗	5.0 km	令和2年度末	5.65 km	令和4年度末	7.33 km	令和5年度末	34.5 km	令和8年度末	16.4%	21.3%	やや低調	①自転車歩行者専用道(市道屋代中学校北線)の整備 L=518m(供用開始)、矢羽根等設置(市道2-1号線他)L=1,165m ②市道以外の路線において取組が低調である。 ③整備イメージ図を用いた県等への働きかけの実施。	道路河川課	自転車の日常利用路線の整備進捗状況を表す	年度毎に整備延長を算出。(千曲市自転車活用推進計画)	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

4	【都市基盤】 快適で便利な、持続可能なまちをつくる	全人口に占める居住誘導区域内人口の割合	全人口のうち、人口密度を維持することで生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導すべき区域内の人口の割合	上昇 ↗	39.8 %	平成22年度	41.1 %	令和4年度	41.1 %	令和5年度	42.5 %	令和8年度	96.7%	96.7%	順調	①居住誘導区域内への誘導方法の検討（立地適正化計画の見直しにかかる市民アンケートの実施）を行った。 ②少子高齢化による空き家の増加（都市のスポンジ化）や若年層の流出抑制が課題である。 ③R6年度内に立地適正化計画の改定を予定しており、誘導施策には、より居住誘導区域に人口が増えるような施策を検討する。	都市計画課	立地適正化計画における目標値を表す	国勢調査及び人口統計月報の数値を用いて算出	A
		姨捨スマートインターチェンジの1日平均利用台数	姨捨スマートインターチェンジの1日の平均利用台数	上昇 ↗	1,121 台	令和元年度	1,103 台	令和4年度	1,130 台	令和5年度	1,289 台	令和8年度	85.6%	87.7%	順調	①姨捨スマートICのフォローアップを実施し、課題、整備効果等の再検討を行った。また、フル規格化に向けたアクセス道路を検討するにあたり、地形測量を実施 ②冬期間の除雪対応 ③SNSなどを利用し知名度向上を図るとともに、冬期間も安全に通行出来るよう除雪対応を検討していく。	道路河川課	認知度や利便性を計測でき、整備の指標を表す	NEXCO 東日本に、照会を行う	A
		幹線道路の整備率	都市計画道路一重山線の整備率	上昇 ↗	17.1 %	令和3年度末	17.1 %	令和4年度末	17.1 %	令和5年度末	40.1 %	令和8年度末	42.6%	42.6%	順調	①整備用地の取得（都市計画道路一重山線の一部である市道一重山2号線の整備用地を面積ベースで約64%取得） ②今後は用地取得に伴う物件補償額が高額となり、同時に工事に着手するため、各実に財源を確保することが課題となる。 ③主財源は国からの交付金であり、より必要額に近い交付金を得られるよう地方創生道整備交付金を活用する。	道路河川課	都市計画道路一重山線の整備延長を表す	整備延長に対する整備率（出典：都市計画道路計画決定の延長）	A
		長野電鉄屋代線跡地の整備延長	長野電鉄屋代線跡地を自転車・歩行者専用道路として整備した距離	上昇 ↗	0 m	令和2年度	0 m	令和4年度	518 m	令和5年度	950 m	令和8年度	0.0%	54.5%	順調	①国の交付金を活用し、695mの区間の本工事を実施した。このうち、屋代中学校西側の市道から北東に518mの区間については供用開始した。 ②しなの鉄道との近接部分や県道との交差点部分の整備は、安全面の観点から、より細心の注意が必要である。 ③残りの屋代中学校西側から倉科踏切に向けての435mの区間について、早期供用開始を目指す。	都市計画課	整備延長を表す	整備延長に対する整備率	A
		特定空家等件数	特定空家等（倒壊等の恐れがある空き家）の件数	改善 ↘	5 件	令和2年度	4 件	令和4年度	4 件	令和5年度	0 件	令和8年度	20.0%	20.0%	順調	①特定空家等の所有者に適正管理を促した結果、危険部分除去2件、解体1件、令和6年度中に解体予定1件となった ②管理がされていない空家の増加による、特定空家増加が予想される。 ③補助制度などを奨励しながら所有者に適正管理を促す	建築課	令和2年度協議会にて認定した特定空家等の数を表す	当該物件の取壊しなどにより確認	C

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標2 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【子育て】 子育てしやすい環境づくりと、家庭・地域で子どもを	合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの	上昇 ↗	1.40	令和元年	1.55	令和4年	1.41	令和5年	1.52	令和8年	102.0%	92.8%	やや低調	①合計特殊出生率の改善は市全体の課題であることから、庁内横断的に検討を行ったほか、産後ケアの拡充や育児等支援の拡充など各課において取り組みを推進した。 ②県平均は上回ったものの、前年に比べ0.14減少し、目標値に達しなかった。 ③新たにこども家庭センターを設置し妊娠期から切れ目ない相談支援を行うなど、各課の事業を推進するほか、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりや若い世代の就労の場の確保など、全庁的に取り組んでいく。	健康推進課	安心した出産・子育てに向けた各分野における取組みの包括的評価を表す	保健活動統計など	A
		市民意識調査における設問「子育て」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	市民意識調査における設問「子育て」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	上昇 ↗	46.7 %	令和3年度	43.2 %	令和4年度	45.1 %	令和5年度	51.0 %	令和8年度	84.7%	88.4%	やや低調	①千曲市独自事業として、中学校卒業の生徒に3万円を給付する15の春応援事業等を実施した。また、子育ての市民意識の醸成のため、市民と行政が一体となつてこどもまんなかの視点を大切にする「こどもまんなか宣言」を行った。 ②満足度を高めるためのニーズの把握が課題となっている。 ③こども計画策定のためのアンケート調査により、市民の子育てに対するニーズを把握し、また、こども自身からの意見聴取もを行い、ニーズに沿った子育て施策となるよう計画を策定し、事業に取り組む。	こども未来課	「子育て」の市民意識の醸成、取組状況の進捗を表す	市民意識調査結果	A
		子どもの居場所づくり支援事業実施団体数	子どもの居場所づくり支援事業補助金の交付団体数	上昇 ↗	4 団体	令和2年度	6 団体	令和4年度	7 団体	令和5年度	9 団体	令和8年度	66.7%	77.8%	順調	①市内の7団体に交付金を子どもの居場所づくり支援事業交付金を計2,529,512円交付したほか、物価高騰による影響も考慮し、物価高騰に伴う子ども食堂支援事業補助金も計599,200円を交付した。 ②実施団体により参加者数に差があるため、子どもひとり当たりにかかる経費、交付金額に差が出てしまうことが課題となっている。 ③要綱の見直しを検討し、市内の子ども食堂に周知し、理解を求めていく。	こども未来課	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	実績値による	A
		ファミリーサポート事業提供会員数(両方会員含む)	ファミリー・サポート・センター事業に提供会員として登録している人数	上昇 ↗	151 人	令和2年度	140 人	令和4年度	146 人	令和5年度	180 人	令和8年度	77.8%	81.1%	やや低調	①ファミリー・サポート・センターへの新規入会申込者(提供会員)を対象とした相互援助活動講習会を、6月と10月の2回、各2日間開催し、提供会員の養成を行っている。 ②依頼の増加に伴う提供会員の不足が課題となっている。 ③引き続き事業についての周知を続けるとともに、中学校卒業のお子さんを持つ15の春対象者に提供会員募集のチラシを同封するなどして、会員の増加に繋げていく。	こども未来課	地域における相互支援の取組状況を表す	登録者数による	A
		ファミリーサポート事業実行率	援助依頼に対して援助活動ができた割合	上昇 ↗	- %	-	99.6 %	令和4年度	99.6 %	令和5年度	90 %	令和8年度	110.7%	110.7%	目標達成	①依頼会員からの依頼に基づき、お子さんの送迎については延べ351回、預かりについては延べ340回の活動を行った。 ②依頼の増加に伴う提供会員の不足が課題となっている。 ③引き続き事業についての周知を続けるとともに、中学校卒業のお子さんを持つ15の春対象者に提供会員募集のチラシを同封するなどして、会員の増加に繋げていく。	こども未来課	地域における相互支援の取組状況を表す	実績値による	A
		子育て相談件数(子育て支援センター)	更埴子育て支援センター及び上山田子育て支援センターでの子育てに関する相談件数	上昇 ↗	380 件	令和2年度	134 件	令和4年度	268 件	令和5年度	430 件	令和8年度	31.2%	62.3%	順調	①更埴・上山田の両子育て支援センターで利用者支援事業を実施し、子育て家庭等から日常的に相談を受け、子育てに関する情報の提供等を行い、必要に応じて相談機関へ繋げている。 ②コロナ明けの利用者増加に伴い、相談件数も増加しているが、相談件数の増加が、子育てしやすい環境づくりの成果に必ずしも繋がるものではないため、指標について検討していく。 ③身近な相談場所として、保護者の目線に立った寄り添い型の支援を行いながら、こども家庭センターと連携を図り対応していく。	こども未来課	子育て支援に対する状況を表す	実績値による	A
		子育て支援センター年間利用者数	更埴子育て支援センター及び上山田子育て支援センターの年間延べ利用者数	上昇 ↗	36,074 人	平成30年度	12,423 人	令和4年度	18,534 人	令和5年度	37,000 人	令和8年度	33.6%	50.1%	低調	①コロナの5類移行に伴い、利用の際の予約を不要とし、利用の促進を図っている。 ②3歳未満児の保育園等への入園が増加していることや、妊婦や0歳児の利用が多い施設のため、コロナ前でも感染症の流行等により利用を控える傾向も見られ、コロナ前ほどの利用者数には届かない。社会状況の変化や利用者のニーズに合わせ、現在の指標が妥当であるかについて検討が必要。 ③引き続き、市報やホームページで各種相談や子育てひろばなどの周知を行い、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流ができる場の提供に繋げていく。	こども未来課	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	実績値による	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

育むまちを目指す	子育て支援センター利用者満足度	子育て支援センター利用者へのアンケートによる満足度	上昇↗	- %	-	満足割合 _ %	令和4年度	_ %	令和5年度	満足割合 90 %	令和8年度	0.0%	0.0%	低調	①令和5年度についてはコロナの5類移行に伴い、予約制を解除した。感染予防に留意し、状況を見ながらイベント開催を行った ②コロナの5類移行による過渡期であったことから、アンケートの実施を見送ったため、予約制により落ち着いた利用を希望するか、自由来館を希望するののか等について、保護者の希望や意向を把握できていない。 ③令和5年度に自由来館に戻したため、令和6年度にアンケートを行い満足度を調査する。	こども未来課	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	利用者アンケート	A
	保育園の耐震化率	公立保育所11園中、耐震工事等の実施が完了した保育所の割合	上昇↗	54 %	令和2年度末	63.6 %	令和4年度末	72.7 %	令和5年度末	100 %	令和8年度末	63.6%	72.7%	順調	①令和5年度 市立桑原保育園耐震改修工事を実施した。 ②耐震性の確保と共に、内装・設備の更新・改修を図らなければならない。 ③令和6年度は稲荷山保育園を耐震化する。	保育課	安全・安心な子育て環境の状況を表す	竣工状況	A
	延長保育、一時預かり、日曜保育の利用者数の計	当該年度の延長保育、一時預かり、日曜保育利用者の実人数合計	上昇↗	879 人	令和2年度	887 人	令和4年度	1,125 人	令和5年度	1,000 人	令和8年度	88.7%	112.5%	目標達成	①公立保育園11園、私立保育園4園、認定こども園2園、小規模保育施設2園で実施し、1,125人が利用した。 ②長時間保育士等の確保が課題となっている。 ③引き続き保育士の確保に努め、様々な保育需要にこたえていく。	保育課	仕事と家庭の両立支援の環境整備の取組状況を表す	実績値による	A
	乳幼児健康診査受診率	3か月・7か月・10か月・1歳6か月・2歳・3歳の乳幼児に対する健康診査等を受診した割合	維持→	100.6 %	令和2年度	98.6 %	令和4年度	99.7 %	令和5年度	100 %	令和8年度	98.6%	99.7%	順調	①ハガキにて健診日をお知らせし、乳幼児健康診査を実施した。 ②入院等の理由で健診受診ができない乳幼児もあり、受診率が目標値に達していない。 ③健診受診しない乳幼児へは受診勧奨。健診受診できない乳幼児へは個別に関わり、状況把握や母親の相談を実施する。	健康推進課	母子保健の取組状況を表す	保健活動統計	A
	赤ちゃん訪問（4か月未満児）実施率	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、各家庭の状況に応じた指導・支援を行った割合	上昇↗	96.8 %	令和2年度	98.7 %	令和4年度	98.8 %	令和5年度	100 %	令和8年度	98.7%	98.8%	きわめて順調	①生後4か月未満児へ赤ちゃん訪問を実施した。里帰り先での訪問も希望者へは実施できるよう連絡調整、手続きを行った。 ②入院等の理由で訪問実施ができない場合があるため、目標値に達していない。 ③訪問ができない乳児に対しては、母親に状況確認をし、育児相談で不安等への支援を行う。	健康推進課	母子保健の取組状況を表す	実績値による	A
	父親の育児参加に対する母親の評価（「よくやっている」）	3か月・1歳6か月・3歳の乳幼児健康診査時に実施するアンケート内容で、父親が育児参加している割合の平均値	上昇↗	63.5 %	平成28年度～令和2年度の平均値	69.6 %	令和4年度	70.9 %	令和5年度	75.0 %	令和8年度	92.8%	94.5%	順調	①父親の育児参加促進事業としてリトミックと工作教室を開催した。平日は仕事で不在の父親も多いため、開催日を土日とし、「パパとあそぼう」とのタイトルで父親と子どもでの参加に限定し開催した。 ②令和4年度から開始した事業であり、どのようなイベントであれば参加したいかを研究していく必要がある。 ③参加者アンケートの回答を検証しながら、事業の内容について工夫していく。	こども未来課	子育ての環境整備の取組状況を表す	健康推進課乳幼児健診アンケート	A
	結婚相談件数	千曲市社会福祉協議会で実施している結婚相談所での結婚相談件数	上昇↗	27 件	令和2年度	23 件	令和4年度	12 件	令和5年度	60 件	令和8年度	38.3%	20.0%	やや低調	①平日は月曜日～金曜日の10時～16時、休日は月1回9時～12時に相談を受け付けている。 ②新規登録者の獲得が課題となっている。 ③チラシ配布による周知やイベント時に勧誘等を行い、特に女性の登録者を増やす工夫を行っていく。	こども未来課	人口の自然増に繋がる取組状況を表す	実績値による	A
	婚活イベント参加者数（社協分）	千曲市社会福祉協議会等で実施している婚活イベントの参加者数	上昇↗	75 人/回	令和元年度	0 人/回	令和4年度	67 人/回	令和5年度	82 人/回	令和8年度	0.0%	81.7%	順調	①年2回イベントを開催し、飲食を楽しみながらの新たな出会いの場を提供することができた。 ②比較的女性の参加者が少ないことが課題となっている。 ③女性の参加者を増やすため、女性視点でのイベント企画を行っていく。	こども未来課	人口の自然増に繋がる取組状況を表す	実績値による	A
	高学年児童の受入れ施設数	放課後児童クラブの高学年受け入れ施設数	上昇↗	2 /9施設	令和2年度	6 /9施設	令和4年度	9 /9施設	令和5年度	9 /9施設	令和8年度	66.7%	100.0%	目標達成	①市内9か所の施設で放課後児童クラブを運営し、高学年までの受け入れを行っている。 ②核家族世帯や就労する保護者の増加に伴い、児童クラブの利用希望が増加し、対応する職員の配置や施設の整備が課題となっている。 ③令和6年度より埴生と稲荷山の児童クラブで分室の増設と新設をした。今後も受け入れ人数に応じた小学校の余裕教室等の利用について、検討・協議を続けていく。	こども未来課	子育て支援に対する環境整備の状況を表す	実績値による	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

2	【教育】 一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	基礎学力の定着度 (国語、算数・数学)	「全国学力学習状況調査」における教科別の平均正答率の、全国・長野県との比較	上昇 ↗	(小学校) 各教科、全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、全国・長野県と同程度 (100.7%)	令和4年度	各教科、全国・長野県をやや下回る (95.1%)	令和5年度	各教科、全国・長野県を上回る	令和8年度	100.7%	94.3%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。 (算数)割合、分数、百分率、比例などを関連させながら理解を深める学習に課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な全国規模の調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査結果	B
					(中学校) 各教科、全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、全国・長野県と同程度 (100%)	令和4年度	各教科、全国・長野県と同程度 (96.7%)	令和5年度	各教科、全国・長野県を上回る	令和8年度	100.0%	96.7%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)二つの文章を比較して表現の効果を考える問題に課題がある。 (数学)図(箱ひげ図)から分布の特徴を読み取る問題に課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。				
		家で、自分で計画を立てて勉強している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 79.4	令和3年度	72.5 %	令和4年度	76.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	91.3%	96.5%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②家庭での学習で、何をどう進めていくかが具体的にない面がある。 ③「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の内容や習慣化について指導、家庭学習につながる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) % 63.4	令和3年度	61.6 %	令和4年度	57.2 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.2%	90.2%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②家庭での学習で、何をどう進めていくかが具体的にない面がある。 ③「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の内容や習慣化について指導、家庭学習につながる授業の工夫・改善を行う。				
		自分にはよいところがある	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 81.2	令和3年度	79.4 %	令和4年度	87.4 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.8%	107.6%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係を築いていく必要がある。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に取り組む。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) % 78.2	令和3年度	81.8 %	令和4年度	83.1 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.6%	106.3%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係を築いていく必要がある。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に引き続き取り組む。				
		将来の夢や目標を持っている	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 82.9	令和3年度	86.5 %	令和4年度	82.2 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.3%	99.2%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的な推進。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。	教育総務課	継続的な調査により将来に関する意識の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) % 73.1	令和3年度	67.6 %	令和4年度	68.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	92.5%	93.8%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的な推進。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。				
		学校に行くのは楽しい	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 86	令和3年度	88.5 %	令和4年度	87.9 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	102.9%	102.2%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②「好き」と思ってもらえるような授業が重要。 ③よく分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) % 85.3	令和3年度	85.8 %	令和4年度	82.4 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	100.6%	96.6%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②「好き」と思ってもらえるような授業が重要。 ③引き続き、より分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。				

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

		住んでいる地域の行事に参加している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 75.3	令和3年度	81.2 %	令和4年度	78.6 %	令和5年度	基準値を上回る %	令和8年度	107.8%	104.4%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②コロナの影響で地域の行事が中止されたり縮小されたりしている。 ③キャリア教育の充実コミュニティスクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。	教育総務課	継続的な調査により地域や社会に関わる活動の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	B
					(中学校) % 72.4		68.2 %		57.7 %		基準値を上回る %	令和8年度	94.2%	79.7%	やや低調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②コロナの影響で地域の行事が中止されたり縮小されたりしている。 ③キャリア教育の充実コミュニティスクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。				
		食材の地場産物使用度	地場産物の範囲を県内産とした食材数ベース	上昇 ↗	54.9 %	令和2年度	45.5 %	令和4年度	43.9 %	令和5年度	55.0 %	令和8年度	82.7%	79.8%	やや低調	①地元農産物等利用促進関係者連絡協議会を開催し、意見交換する場を設けるなど、積極的に納入業者と連絡を取り合い、地元産食材を取り入れた献立の作成に努めた。 ②天候不順等により地元産食材の安定的な確保が困難である。 ③地元納入業者と蜜に連絡を取り合い、季節ごとに旬の地元食材を取り入れた献立を工夫するなど、地元産食材の発注に努める。	給食センター	県内・市内産農産物などの地元産食材使用率が維持されているかを表す	長野県の学校給食県産農産物利用状況調査の報告値(食材数ベース)	A
3	【生涯学習】 学びと交流を進め、人生を豊かにする	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	上昇 ↗	18,958 人	令和元年度	11,593 人	令和4年度	14,399 人	令和5年度	24,000 人	令和8年度	48.3%	60.0%	やや低調	①各公民館、図書館、生涯学習係で市民向けに各種講座を実施。 ②コロナ禍以降の市民向け講座の内容の検討 ③引き続き市民向け講座の内容を充実させて、生涯学習を推進する。	生涯学習課	生涯学習の場の提供状況を表す	実施状況報告などにより把握	A
		「生涯学習人材バンク」新規登録人数	「生涯学習人材バンク」新規登録人数	上昇 ↗	2 人	令和2年度	0 人	令和4年度	0 人	令和5年度	5 人	毎年度	0.0%	0.0%	低調	①専門知識や特殊技能を持つ千曲市民を希望する方に紹介をして地域づくりに役立ててもらうことを目的として実施。 ②事業の認知度が低いため周知方法が課題。 ③事業の認知度を上げるため市のHPやSNSで事業の周知を図る。	生涯学習課	生涯学習のための講師人材登録者数を表す	実登録者数をカウント	A
4	【スポーツ振興】 スポーツを通じ、心身の健康と活力あるまちを目指す	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	上昇 ↗	1,640 人	令和元年度	1,485 人	令和4年度	1,664 人	令和5年度	2,000 人	令和8年度	74.3%	83.2%	順調	①新たにファミリーの部(2km)を設け、参加者増を図った。姨捨棚田米のおにぎり、更級みその豚汁を参加者に配布し、地元特産物をPRLした。 ②参加者からは高い満足度が得られている一方、参加者の9割が県内からの参加者であり、より広域を目指した交流人口の獲得が課題。 ③市出身の観光大使とタイアップしたPRによる知名度の向上、温泉等の地域の資源を生かした大会の更なる魅力度向上と交流人口の増加を図る。	スポーツ振興課	スポーツイベントの開催による交流人口の増加に対する指標	大会参加申込者の集計による	A
		成人の運動実施率	20歳以上の市民1,000人にアンケートを行い、週に1回以上運動をしていると回答した人の割合	上昇 ↗	43.8 %	平成30年度	46.1 %	令和4年度	44.5 %	令和5年度	65.0 %	令和8年度	70.9%	68.5%	やや低調	①市スポーツ協会と連携しスポーツ振興を目的とした活動を支援するとともに、スポーツを行う環境の整備・提供を日時とした取り組みを行った。 ②運動したい希望はあるが、場所や機会等の条件が合わず運動できていない人へのきっかけづくりをいかに行うかが課題である。 ③従来のスポーツよりもより参加へのハードルの低いニュースポーツの普及啓発、スポーツ推進委員や地域のスポーツ団体と連携しスポーツへの機会の提供等を通しきっかけづくりに取り組む。	スポーツ振興課	健康運動の普及と推進の取組状況を表す	市民アンケートの集計による	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標3 支え合い、かかわり合い、誰もが健康で活躍するまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【地域福祉】 ともに支え合い、安心して暮らせるまちをつくる	千曲市社会福祉協議会に登録がある福祉ボランティアのグループ数	千曲市社会福祉協議会に登録がある福祉ボランティアのグループ数	上昇 ↗	133 グループ	令和2年度	132 グループ	令和4年度	131 グループ	令和5年度	150 グループ	令和8年度	88.0%	87.3%	やや低調	①休止していた活動を再開したり、新規に登録し身近な地域を中心に活動するグループもあり、徐々にボランティア活動が復活してきている。 ②コロナ禍により活動が停滞していたため、メンバーの減少や高齢化等により、存続が厳しいグループもある。 ③千曲市社会福祉協議会を通してボランティアの育成やグループ活動へのサポート等を行っていく。	福祉課	住民の福祉活動の取組みの広がりを表す	千曲市社会福祉協議会に登録がある福祉ボランティアのグループ数	A
2	【健康づくり】 すべての人が心も体も健康で生活できるまちをつくる	特定健診受診率	40歳から74歳までの国保加入者のうち特定健康診査を受診した人の割合（次年度10月に法定報告値確定）	上昇 ↗	45.5 %	令和元年度	50.8 %	令和5年度	49.7 %	令和5年度途中経過	60 %	令和8年度	84.7%	82.8%	順調	①生活習慣病についての啓発を行い、特定健診の受診をすすめた。 ②受診率は上昇傾向ではあるが、目標とする受診率には届いていない。 ③未受診対策として、引き続き、ポピュレーションアプローチや個別の連絡等で受診勧奨を行う。	健康推進課	生活習慣病の早期発見・早期治療に向けた予防対策に対する意識の高まりを表す	保健事業実施計画（データヘルス計画）	A
		特定健診保健指導率	健診の結果に基づき保健師・栄養士に健康指導を受けた割合（次年度10月に法定報告値確定）	維持 →	91.5 %	令和元年度	88.3 %	令和6年度	45.0 %	令和5年度途中経過	91.2 % 以上	令和8年度	96.8%	49.3%	順調	①特定保健指導対象者への保健指導を実施した。 ②生活習慣の改善など行動変容につなげる保健指導の技術が必要 ③特定保健指導の重要性について啓発を続けるとともに、保健指導技術の向上に取り組む。	健康推進課	自分の健康状態を認識し、疾病予防の意識の高まりを表す	保健事業実施計画（データヘルス計画）	A
		総医療費に占める生活習慣病医療費の割合	国民健康保険の総医療費（歯科医療費除く）に占める生活習慣病医療費（がん、精神、筋・骨格を除く）の割合	改善 ↘	21.8 %	令和2年度	20.7 %	令和4年度	19.4 %	令和5年度	21.8 % 以下	令和8年度	105.3%	112.4%	目標達成	①健診データに基づき、生活習慣病の発症や重症化予防に特化した個別保健指導を実施した。 ②生活習慣病に起因した慢性腎不全で透析導入される人数が増加傾向である。 ③健診データに基づき、重点的に取り組む保健指導対象者を明確化し、引き続き個別保健指導を実施していく予定。	健康推進課	生活習慣病の予防や健康管理の取組状況を表す	国保データベース（KDB）システム	D
		自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）	人口10万人当たりの自殺者数	改善 ↘	16.2	（平成26～29年の平均）	18.4	令和4年	26.9	令和5年	13.0 % 以下	令和5～8年の平均	70.7%	48.3%	低調	①（第1次）いのち支える千曲市自殺対策推進計画に基づき、相談機関の周知、総合相談会、児童生徒のSOSの出し方に関する教育等の実施 ②「高齢者」「勤務・経営」「生活困窮者」の対象群への対策 ③第2次のち支える千曲市自殺対策推進計画に基づき地域・庁内におけるネットワークの強化、自殺対策を支える人材の育成、市民への啓発と周知、生きることの促進要因への支援（相談会の開催）、児童生徒のSOSの出し方に関する教育を実施する。	健康推進課	自殺対策の取組状況を表す	いのち支える千曲市自殺対策推進計画	D
3	【保健・医療】 いつでも適切な医療を受けられる安心のまちをつくる	無医地域での出張診療回数	無医地域（大田原地区）での出張診療回数	維持 →	12 回	令和2年度	12 回	令和4年度	12 回	令和5年度	12 回	令和8年度	100.0%	100.0%	目標達成	①大田原地区の診療所へ月1回医師を派遣委嘱した。年間で20名の診察と37名の往診、20名のインフルエンザワクチン接種を行った。 ②出張診療所設置場所の取り壊しが検討されているため、新たな設置場所の確保が必要。 ③引き続き、無医地域でも医療が受けられる体制を確保する。	健康推進課	無医地域への出張診療の取組みを表す	実績値による	A
		夜間初期救急医療施設	夜間初期救急医療の実施医療機関数	維持 →	3 か所	令和2年度	3 か所	令和4年度	3 か所	令和5年度	3 か所	令和8年度	100.0%	100.0%	目標達成	①年間で千曲市民2,110名の利用があった。 ②令和6年4月からの医師の働き方改革により、時間外労働時間が制限されることになり、救急医療への影響が懸念される。 ③引き続き、救急医療の体制確保に協力するとともに、市民に対しても適正利用を呼びかける。	健康推進課	夜間初期救急対応施設の状況を表す	実施施設数	A
4	【高齢者福祉】 生きがいを 持って地域で 住み続けられ るまちをつくる	市域及び各圏域担当の生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の配置数	高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進するコーディネーターの数	上昇 ↗	9 人	令和3年度	12 人	令和4年度	10 人	令和5年度	13 人	令和8年度	92.3%	76.9%	やや低調	①市と連携しながら取り組めるコーディネーターを配置。 ②様々な視点から事業を展開できるよう、市民のコーディネーター増員配置も検討する。 ③地域の実情を把握し、地域に働きかける市民のコーディネーターを配置する。	高齢福祉課	高齢者の生活支援や介護予防の体制整備に向けての取組状況を表す	配置数による	A
		一般介護予防事業参加者の高齢者人口に占める割合	高齢者が一般介護予防事業等に参加する割合	上昇 ↗	19.9 %	令和元年度	5.3 %	令和4年度	11.1 %	令和5年度	24.5 %	令和8年度	21.6%	45.3%	やや低調	①一般介護予防事業として各種教室を開催、地域のいきいきサロン等で高齢者のフレイル予防等について普及啓発を行っている。 ②地域のいきいきサロン等、住民主体の活動が更に活発化していくこと、一般介護予防事業の新規参加者を増やしていく。 ③介護予防事業は多くの人々が参加できるよう、一部の教室は事前申し込みをなくし随時参加可能とする。また、引き続きフレイル予防について普及啓発を行っていく。	高齢福祉課	介護予防の取組みの進捗状況を表す	各種介護予防講座など参加者数高齢者人口（住民基本台帳）	A
		認知症サポーター登録者数	認知症を正しく理解し認知症の人やその家族を地域で温かく見守る応援者の登録者数	上昇 ↗	3,939 人	令和2年度	4,107 人	令和4年度	4,449 人	令和5年度	6,200 人	令和8年度	66.2%	71.8%	やや低調	①地域の人権研修会、市内中学生対象などの認知症サポーター養成講座を開催。 ②地域の人権研修会のみならず、様々な場所、対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての理解者・支援者を増やしていく。 ③市内消防団、小中高校を対象に認知症サポーター養成講座を開催するよう働きかけを行う。	高齢福祉課	地域で認知症の理解・支援についての参加状況を表す	認知症サポーター養成講座受講者数	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」） 一覧

5	【障がい者福祉】 その人らしさを認め合い、みんなで支えるまちをつくる	福祉施設から一般就労への移行者数	福祉施設利用者のうち就労移行支援事業所等（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援等）を通じた一般就労への移行者数	上昇 ↗	7 人	令和2年度	20 人	令和4年度	6 人	令和5年度	12 人	令和8年度	166.7%	50.0%	やや低調	①地域自立支援協議会（はたらく部会：5回開催）等も活用しながら、就労移行支援事業所等に通う福祉施設利用者の一般就労に向けた取組を推進した。 ②身体障がい者は減少・高齢化傾向、精神・知的障がい者は増加傾向にあるものの、精神・知的障がい者の求人が少ない。また、就労移行事業所等による支援において、ノウハウの蓄積等が必要である。 ③一般就労に向けた取り組みを強化するため、障がい者に適切な障がい福祉サービス等を提供するとともに、サービス提供事業所間の連携強化等により事業所の支援体制の強化を図る。	福祉課	障がい者の就労支援の取組状況を表す	一般就労への移行者数（県提供）	A
6	【生活支援】 誰もが安定した生活を送れるまちをつくる	生活保護受給者等の就労自立促進事業における就職達成者数	稼働年齢の生活保護受給者が就労し安定生活を送る為に、就労支援員が履歴書の書き方やハローワークへの同行等就労支援を行い、就職後も雇用と収入が安定するまで支援を行う。	上昇 ↗	3 人	令和2年度	2 人	令和4年度	4 人	令和5年度までの累計	15 人	令和4～8年度の累計	13.3%	26.7%	低調	①月1回開催する支援者会議にて、関係機関と情報共有を図り、個々の希望や適性を判断し、就労先の検討及び紹介をする。 ②雇用の持続性の懸念（これまでの生活歴、傷病・障害状態等により早期離職の可能性もある） ③引き続き、関係機関と連携し、適した就労先を検索し、また就労先にも理解を求める。	福祉課	生活保護受給者等の自立に向けた就労支援実施時における就職達成状況を表す	就労支援促進計画の令和2年度の生活保護受給者等の就職達成者数の実績評価により算出	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標4 千曲の特色を磨き上げ、賑わいと活力あるまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【商工業振興】 多様な産業の活性化を図り、持続可能な産業への改革を目指す	長野県SDGs企業の登録数	SDGsについて、積極的に取り組む企業数	上昇↗	23 社	令和2年度	54 社	令和4年度	97 社	令和5年度までの累計	50 社	令和8年度までの累計	108.0%	194.0%	目標達成	①・市と「SDGs推進に関する包括連携協定」を締結している三井住友海上火災保険㈱と連携し、事業者を対象としたセミナーの開催、個別支援を実施。 ・商工業振興条例の助成事業の一部に、SDGs登録企業を申請要件、また加算要件として設定。 ②目標を達成しているが、市内には未登録の事業者が多数ある。 ③さらなる周知を実施し、今後も取組みを継続する。	産業振興課	意欲的に取組む企業数を示す	長野県の認定件数	A
		職場いきいきアドバンスカンパニーの登録数	従業員の働き方を意識した企業の数	上昇↗	5 件	令和2年度	9 件	令和4年度	12 件	令和5年度までの累計	15 件	令和8年度までの累計	60.0%	80.0%	きわめて順調	①商工業振興条例の助成事業の一部に、職場いきいきアドバンスカンパニー登録事業者には加算要件として設定。 ②達成率は良好だが、市内には未登録の事業者が多数ある。 ③さらなる周知を実施し、今後も取組みを継続する。	産業振興課	働き方を意識した企業数を示す	長野県の認定件数	A
		ふるさとハローワークの相談件数・紹介件数	庁舎2階に設置しているふるさとハローワークにおける相談件数・紹介件数	上昇↗	相談件数 4,798 件	令和2年度	3,777 件	令和4年度	3,722 件	令和5年度	4,800 件	令和8年度	78.7%	77.5%	やや低調	①毎週、市HPにおいて求人情報等を掲載。 ②オンライン求人サイトの普及により、相談者数等は年々減少すると思われるが、継続して運営を行う必要がある。 ③市HPにおいて継続して周知していく。	産業振興課	就職促進の状況を表す	ふるさとハローワークの報告数	A
					紹介件数 2,084 件		1,628 件		1,574 件		2,100 件	令和8年度	77.5%	75.0%	やや低調	①毎週、市HPにおいて求人情報等を掲載。 ②オンライン求人サイトの普及により、相談者数等は年々減少すると思われるが、継続して運営を行う必要がある。 ③市HPにおいて継続して周知していく。				
		産業展示会などの参加企業数・展示会引合件数	販路開拓のための、展示会などへの出展による効果を示す企業数および引き合いの件数	上昇↗	参加 48 社	令和元年度	33 社	令和4年度	28 社	令和5年度	50 社	令和8年度	66.0%	56.0%	低調	①6展示会に出展。出展事業者の6割が成果があったと回答。 ②令和5年度は例年出展している「メッセナゴヤ」への出展が出来なかったことなどから、参加企業数・引合件数ともに減少した。 ③出展企業へのアンケート結果では、例年出展事業者の6～7割が成果があるとし、ほぼ全ての出展事業者が次年度以降も出展したいとしていることから、今後も出展支援を継続する。	産業振興課	展示会などへの出展の効果を示す	出展企業からの報告書	A
					引合 1,977 件		3,750 件		1,001 件		2,100 件	令和8年度	178.6%	47.7%	低調	①6展示会に出展。出展事業者の6割が成果があったと回答。 ②令和5年度から、出展企業から報告される引合件数について、1社から数品の成約があっても1件とカウントするよう基準を変更したことから実績値が減少した。 また、例年出展している「メッセナゴヤ」への出展が出来なかったこともあり、引合件数が減少した。 ③出展企業へのアンケート結果では、例年出展事業者の6～7割が成果があるとし、ほぼ全ての出展事業者が次年度以降も出展したいとしていることから、今後も出展支援を継続する。				
		先端設備等導入計画の認定数	生産性向上事業のため、先端設備を導入した企業数	上昇↗	32 件	令和2年度	41 件	令和4年度	79 件	令和5年度までの累計	150 件	令和4～8年度までの累計	27.3%	52.7%	きわめて順調	①制度改正に伴い市役所にて説明会を開催し、事業者に対し周知を図った。 ②設備投資を通じた労働生産性の向上及び労働者の賃上げに影響する支援策であり、さらに増やす必要がある。 ③市HPにおいて継続して周知し、今後も取組みを継続する。	産業振興課	企業の生産性向上への取組意欲を示す	受付実績	A
2	【農林業振興】 地域の特性を活かした農業振興と、森林資源の多面的活用を目指す	防災重点農業用ため池の耐震性調査箇所（累計）	ため池の恒久的な維持管理のための耐震性調査状況を表す	上昇↗	1 か所	令和2年度末	4 か所	令和4年度末	7 か所	令和5年度末までの累計	10 か所	令和8年度末までの累計	40.0%	70.0%	きわめて順調	①令和5年度は市内重点ため池3箇所（治田上池、薬師池、郷津池）の耐震診断を行った。 ②毎年計画的に事業を進めているが、本事業は国の補助100％であることから国の予算付けの状況に影響される。 ③今年度も継続して重点ため池の耐震調査を行っていく。	農林課	防災重点農業用ため池を雨水貯留槽として活用するための取組状況を表す	防災重点農業用ため池の耐震性点検の実績値による（対象:20池 残19池）	A
		新規就農者の年間認定件数	担い手確保対策の取り組みの状況を表す	上昇↗	1 件	令和3年度	0 件	令和4年度	1 件	令和5年度	1 件	毎年度	0.0%	100.0%	目標達成	①各種補助制度の周知及び就農希望者に対する相談会の実施 ②農地の確保、経営改善、就農人口の減少 ③就農者のニーズ把握とサポート体制の拡充	農林課	市が認定する新規就農者（49歳以下）の状況を表す	認定新規就農者数	A
		ワイン用ぶどう栽培面積	千曲川ワインバレー特区の展開の取り組み状況を表す	上昇↗	5.8 ha	令和2年度末	6.43 ha	令和4年度末	6.54 ha	令和5年度末	6.5 ha	令和8年度末	98.9%	100.6%	目標達成	①市独自の補助制度による生産者支援、千曲川ワインバレー特区と連携した各種事業の実施 ②生食用ぶどうと比較し栽培面積当たりの収益性が低い ③令和5年度の取り組みを継続実施	農林課	荒廃農地解消の状況を表す	栽培者からの聞き取り	A
		遊休農地面積	再生利用が可能な農地を表す	維持→	32.8 ha	令和2年度末	31.6 ha	令和4年度末	32.7 ha	令和5年度末	29.6 ha	令和8年度末	93.7%	90.5%	やや低調	①新規就農者支援や農業団体や生産法人等に対する経営拡大支援を通じ遊休農地解消に努めた。 ②農業者の高齢化や担い手不足が加速傾向にある ③農業委員会等の関係機関と連携し担い手の育成や営農支援を行う	農林課	遊休農地増加の抑制状況を表す	農業委員会調査による	D
		私有林の現況調査	私有林現状把握による健全な森林への把握状況を表す	維持→	100 ha	令和3年度	103.47 ha	令和4年度	108.7 ha	令和5年度	100 ha	毎年度	103.5%	108.7%	目標達成	①森林経営管理制度実施方針に基づき実施 ②より効率的な運営と山を知らない職員の実地経験値の不足 ③引き続き実施方針に基づいた事業を実施していく。	農林課	私有林の現状把握状況を表す	現地調査等の実績値による	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

		協働の森づくり参加団体	市民の健全な森林へ向けた取り組み状況を表す	維持 →	45 団体	令和元年度	27 団体	令和4年度	46 団体	令和5年度	45 団体	令和8年度	60.0%	102.2%	目標達成	①5月中旬に植樹祭を行い、苗木に触れ、山に来てもらうことで森林への関心を竹めることができた。 ②10年後以降の植樹箇所は決まっていない。 ③関心のある団体や市民がいる限り続けていきたい。	農林課	健全な森林(里山)保持に向けた取組状況を表す	協働の森づくり参加団体実績値による	A
		市有林森林経営計画に基づく間伐等の面積	公有林における健全な森林保持に向けた取り組み状況を表す	上昇 ↗	7.7 ha	過去5年間の平均値	6.46 ha	令和4年度	6.15 ha	令和5年度	8.0 ha	毎年度	80.8%	76.9%	やや低調	①計画どおり執行できた。 ②予算と林業事業体の体力を鑑みると今後も目標の値に届くのが困難 ③間伐だけでなく更新伐も併せて行い、材木収入の市への収入増と地球環境へ寄与していきたい。	農林課	健全な森林(里山)保持に向けた取組状況を表す	間伐等森林整備面積の実績値	A
3	【観光交流】市内・広域の観光資源の連携を図り、千曲ブランドを確立する	交流人口	観光地利用者数及びイベント参加者数	上昇 ↗	77 万人	令和2年度	139 万人	令和4年度	153 万人	令和5年度	186 万人	令和8年度	74.7%	82.3%	順調	①(一社)信州千曲観光局と連携し、本市の認知向上に向けた情報発信などの取り組みを行った。 ②早期の交流人口の回復 ③再来訪や新規でより多くの方の来訪に向けて、引き続き本市の魅力の発信に努める。	観光課	賑わいのあるまちを創出する取組状況を表す	市調査による	A
		入湯客数	市内温泉施設における入湯客数	上昇 ↗	全体 30 万人	令和2年度	50 万人	令和4年度	53 万人	令和5年度	64 万人	令和8年度	78.1%	82.8%	順調	①(一社)信州千曲観光局や旅館組合連合会等の関係団体と連携し、温泉観光の魅力増進に向けた取り組みを行った。 ②入湯客数は回復傾向ではあるが、伸び率は前年を下回っている。 ③引き続き関係団体等との連携により魅力増進に向けた取り組みを行う。	観光課	賑わいのあるまちを創出する取組状況を表す	市調査による	A
					うち日帰り 13 万人		21 万人		22 万人		25 万人	令和8年度	84.0%	88.0%	順調	①(一社)信州千曲観光局や旅館組合連合会等の関係団体と連携し、温泉観光の魅力増進に向けた取り組みを行った。 ②入湯客数は回復傾向ではあるが、伸び率は前年を下回っている。 ③引き続き関係団体等との連携により魅力増進に向けた取り組みを行う。				
					うち宿泊者 17 万人		29 万人		31 万人		39 万人	令和8年度	74.4%	79.5%	順調	①(一社)信州千曲観光局や旅館組合連合会等の関係団体と連携し、温泉観光の魅力増進に向けた取り組みを行った。 ②入湯客数は回復傾向ではあるが、伸び率は前年を下回っている。 ③引き続き関係団体等との連携により魅力増進に向けた取り組みを行う。				
		訪日外国人宿泊者数	市内宿泊施設における訪日外国人宿泊者数	上昇 ↗	900 人	令和2年	90 人	令和3年	1029 人	令和4年	9,100 人	令和8年	1.0%	11.3%	やや低調	①(一社)信州千曲観光局において、しなの鉄道を軸に沿線観光関連団体等と連携し、地域への誘客に向けたプロモーションを行った。 ②訪日客の当地への誘導策及び滞在プログラムの充実化。 ③(一社)信州千曲観光局と連携し、誘客促進に向けた取り組みを行う。	観光課	インバウンド観光への取組状況を表す	市調査による	A
		空き家バンク活用による契約成立件数(累計)	空き家バンクに登録された物件が、売買または賃貸となった件数	上昇 ↗	38 件	令和2年度	45 件	令和4年度	50 件	令和5年度までの累計	84 件	令和8年度までの累計	53.6%	59.5%	順調	①家財処分やリフォーム補助金を活用し、5件の売買成立 ②老朽化が激しい空き家の買い手がなかなか決まらない ③より多くの人の目にふれる広報手段の研究	建築課	空き家の増加率に合わせて増加する空き家の活用件数を表す	契約成立の累積件数により把握	A
		社会増減	市民課における毎月人口異動調査による市内人口の社会増減の人数	上昇 ↗	110 人	令和2年	228 人	令和4年	158 人	令和5年	124 人	令和8年	183.9%	127.4%	目標達成	①当課では人口減少対策について庁内部局横断会議を実施し、課題の抽出や事業実施について検討したほか、各課において取り組みを行っている。 ②目標を達成し8年連続の社会増となった一方、若年層の転出が課題となっている。 ③若年層の転出を抑制し、今後も社会増を維持するために、引き続き部局横断的な体制を構築し、千曲市を選んでもらえるような魅力ある地域づくりに取り組む必要がある。	総合政策課	社会増減の状況を実数で把握し、移住施策全体の効果を表す	住民基本台帳の年間社会増減数	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標5 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【歴史・文化財】 歴史・文化的遺産の保全・活用を進め、文化都市を形成する	文化財保護事業実施件数(累計)	市民、文化財所有者による文化財保護に取り組んでいる活動を示す件数	上昇↗	4 件	令和3年度	5 件	令和4年度	7 件	令和5年度までの累計	12 件	令和8年度までの累計	41.7%	58.3%	順調	①市指定文化財等の修理等、2件に補助を行った。 ②指定文化財の修理等に関しては、前年度以前に相談を受けて予算化を図る必要があるため、実施に時間がかかる。 ③引き続き、指定文化財等保護の周知を図っていく。	歴史文化財センター	指定等文化財保存に対する市民の取組状況を表す	指定等文化財保護事業に対する補助金交付件数	A
		国・県・市指定等文化財件数	国・県・市指定等文化財件数	上昇↗	149 件	令和3年度	150 件	令和4年度	150 件	令和5年度までの累計	154 件	令和8年度までの累計	97.4%	97.4%	順調	①市指定文化財諮問物件の調査を、市文化財保護審議委員に依頼した。 ②専門的な知識を持つ学識経験者による調査に時間がかかる。 ③諮問物件の調査を進め、文化財指定を行っていく。	歴史文化財センター	文化財保護の取組状況を表す	指定等文化財件数	A
		博物館・史跡公園の入館(場)者数	森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館・城山史跡公園の年間入館(場)者数	上昇↗	25,350 人	令和2年度	33,504 人	令和4年度	31,116 人	令和5年度	35,000 人	令和8年度	95.7%	88.9%	やや低調	①企画展や歴史講座を開催し、入館者の増を図った。 ②少子化や感染リスク等により入館者数の伸びが期待できない状況である。 ③企画展、講座、イベント等、魅力ある取り組みを実施し、入館者の増を図る。	歴史文化財センター	文化財施設の活用状況を表す	森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館、城山史跡公園の入館(場)者数	A
2	【景観形成】 まち全体が調和された、景観の美しいまちをつくる	建造物修理・修景の件数	稲荷山伝建地区の建物修理・修景件数	上昇↗	修理 11 件 修景 3 件	令和2年度	15 件	令和4年度	17 件	令和5年度までの累計	25 件	令和8年度までの累計	60.0%	68.0%	順調	①伝統的建造物修理事業として新規2件の修理事業に補助金交付を行った。 ②稲荷山重伝建地区の伝統的建造物は規模の大きなものがあり、単年度で修理が完了しないものがある。このため、複数年度で事業を実施せざるを得ない建物が増えている。 ③引き続き、伝統的建造物の修理に補助を行っていく。	歴史文化財センター	歴史的まちなみ保存への市民の取組状況を表す	稲荷山重伝建地区における建造物等修理・修景事業への補助金交付延べ件数	A
		眺望点の指定数	地域の重要な景観を眺望できる場所を指定した数	上昇↗	1 件	令和3年度	1 件	令和4年度	1 件	令和5年度	2 件	令和8年度	50.0%	50.0%	順調	①候補地の検討及び担当者による現地確認 ②千曲市内に数ある眺望景観の中から、地域で守っていくべき大事な景観を明確にすること。 ③県道改良工事に伴うビューポイント整備に合わせて眺望点の指定を検討していく。	都市計画課	長野県景観条例による地域にとって重要な景観を眺望できる地点を表す	長野県による指定数	A
		郷土料理の提供数	市内学校での講習会の実施による、次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	維持→	小中学校 校 13	令和2年度	13 校	令和4年度	5 校	令和5年度	13 校	令和8年度	100.0%	38.5%	低調	①各学校から依頼があった際に対応し、実施。 ②同じ学校で活動を複数回行っており、学校数でみるとかなり少ない。 ③こちらから呼びかける等工夫をし、引き続き実施していく。	農林課	次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	小中学校での郷土料理講習会の実施校数	A
3	【伝統文化】 伝統的な行事や生活文化を次代に伝承する	千曲市食の文化祭入場者数	千曲市食の文化祭入場者数を表す	維持→	600 人	平成30年度	58 人	令和4年度	400 人	令和5年度	600 人	令和8年度	9.7%	66.7%	やや低調	①食の文化祭のチラシを市内に全戸配布、各種メディアへ投げ込み。 ②お客様の年齢層が40代以上に集中してしまった。 ③若い世代にも知ってもらうため、市SNSで積極的に発信していきたい。	農林課	郷土の食文化伝承活動の取組状況を表す	食の文化祭参加者数	A
		神楽保存会数	市内の神楽保存会数	維持→	30 団体	令和2年度	30 団体	令和4年度	30 団体	令和5年度	30 団体	令和8年度	100.0%	100.0%	目標達成	①保存会活動を停止したところはなかった。 ②高齢化により存続が難しくなっている団体がある。 ③民俗文化財として指定の検討を進め、保護対策を講じる。	歴史文化財センター	地域の伝統芸能に対する保存・伝承の状況を表す	市内の神楽保存会の数	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の利用者数	各館のイベント入場者・貸館利用者の合計	上昇↗	176,210 人	平成30年度	91,627 人	令和4年度	125,712 人	令和5年度	180,000 人	令和8年度	50.9%	69.8%	やや低調	①「20周年記念事業」として市全体で施設を活用した多くの事業を実施。 ②人口減少や地域コミュニティの希薄化によりイベント入場者数・貸館利用者ともに減少が見込まれ、入場者数の伸びが期待できないこと。 ③魅力あるイベントの開催や情報の周知を図り、利用者の増加に取り組む。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
4	【文化芸術】 豊かな心を育む文化芸術のまちをつくる	更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の件数	各館が自主事業として行ったイベントの件数	上昇↗	17 件	平成30年度	23 件	令和4年度	25 件	令和5年度	20 件	令和8年度	115.0%	125.0%	目標達成	①「20周年記念事業」を中心に例年と比べ多くの事業を実施した。 ②少子高齢化等により自主事業参加団体の減少が見込まれること。 ③引き続き参加団体へのサポート等、継続的な事業実施に向けた取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業件数の積算	A
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の来場者数	自主事業23件の来場者数の合計	上昇↗	9,073 人	平成30年度	6,202 人	令和4年度	8,667 人	令和5年度	10,000 人	令和8年度	62.0%	86.7%	順調	①「20周年記念事業」を中心に多くの事業を実施し、来場者数の増加を図った。 ②自主事業参加団体の減少に伴い、関係者の来場も減少が見込まれること。 ③イベントの周知や新規参加団体の獲得に向け取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業来場者数の積算	A
		稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館、アートまちかどの入場者数	各館の入場者・貸館利用者の合計	上昇↗	12,510 人	令和元年度	9,669 人	令和4年度	10,666 人	令和5年度	15,000 人	令和8年度	64.5%	71.1%	やや低調	①多くの企画展を実施し、来場者数の増加を図った。 ②稲荷山宿・蔵し館、ふるさと漫画館の活用が不十分。 ③情報の周知に取り組み入場者数の増加を図る。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	A
		千曲万博の入場者数	千曲万博の入場者数	上昇↗	430 人	令和元年度	400 人	令和4年度	600 人	令和5年度	600 人	令和8年度	66.7%	100.0%	目標達成	①コロナ禍によって中断していた飲食の再開や、キッチンカーを呼んだことで集客につながり、多文化共生への理解を深めることができた。 ②目標は達成したものの市民への周知が課題。 ③周知方法を見直し、より多くの市民の皆さんが参加出来るようにする。	生涯学習課	多文化共生事業への参加状況を表す	実入場者数をカウント	A
5	【多文化共生】 個性や互いの文化を理解し、共に生きるまちをつくる	千曲万博の入場者数	千曲万博の入場者数	上昇↗	430 人	令和元年度	400 人	令和4年度	600 人	令和5年度	600 人	令和8年度	66.7%	100.0%	目標達成	①コロナ禍によって中断していた飲食の再開や、キッチンカーを呼んだことで集客につながり、多文化共生への理解を深めることができた。 ②目標は達成したものの市民への周知が課題。 ③周知方法を見直し、より多くの市民の皆さんが参加出来るようにする。	生涯学習課	多文化共生事業への参加状況を表す	実入場者数をカウント	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標6 未来に繋げる自然と共生するまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【地球環境保全】 一人ひとりが地球を大切に する社会をつくる	市全体の温室効果ガス 排出量(推計)	各種統計資料から、 按分により排出量を推 計したもの	改善 ↘	483,926 トン	平成 17年 度	349,705 トン	令和2 年度	371,945 トン	令和3 年度	387,140 トン	令和7 年度	110.7%	104.1%	目標達成	①自家消費型再生可能エネルギーの活用促進を図るため、住宅用太陽光発電システム及び蓄電システム設置者への補助金交付 ②温室効果ガス排出が与える影響についての周知及び、それらに対する施策の周知。 ③新たな補助制度の実施により温室効果ガス排出の減少を進める。	環境課	地球温暖化防止への 取組状況を表す	環境省公表値(算定 結果は2年遅れで公表)	D
2	【自然との共生】 ふるさとの自然を守り、人 と自然が共生 するまちをつくる	自然体験学習会参加 者数	自然体験学習会参加 者数	上昇 ↗	38 人	令和 元年 度	44 人	令和4 年度	51 人	令和5 年度	50 人	毎年度	88.0%	102.0%	目標達成	①萬葉の里スポーツエリア周辺の砂礫河原で自然体験学習会を開催 ②千曲川河川事務所との連携 ③水辺の楽校での開催についても検討していく	生涯学習課	自然体験を通じた環 境学習への参加者数 を表す	実参加者数をカウント	A
		希少な動植物の年間 保護活動件数	環境市民会議等による 活動件数	上昇 ↗	11 件	令和2 年度	13 件	令和4 年度	13 件	令和5 年度	15 件	令和8 年度	86.7%	86.7%	順調	①カワナナ、種ホテル採取の育成と放流を実施し、ホームページ上でホテルの飛翔状況を周知。 ②活動団体の育成及び継続性維持。 ③引き続き同様の活動を継続していく。	環境課	希少な動植物の保護 に対する取組状況を表す	保全保護活動数	A
		外来動植物等の年間 駆除件数	環境市民会議等による 活動件数	上昇 ↗	8 件	令和 元年 度	12 件	令和4 年度	13 件	令和5 年度	13 件	令和8 年度	92.3%	100.0%	目標達成	①在来種保護のための、外来種駆除(草刈り・清掃)実施。 ②活動団体の育成及び継続性維持。 ③引き続き同様の活動を継続していく。	環境課	自然生態系を保全する ための実践活動を表す	駆除活動数	A
		動植物に配慮した河 川の整備	動植物に配慮した河 川整備箇所数	上昇 ↗	14 か所	令和2 年度	14 か所	令和4 年度	14 か所	令和5 年度	18 か所	令和8 年度	77.8%	77.8%	やや低調	①底張り無し(川底)にコンクリート舗装を用いない整備)、ポーラスブロック(植生が可能な護岸)等による河川整備 ②整備箇所(河川)数は横ばいではあるが、整備延長は増えている。 ③整備を継続しつつ、整備箇所(河川)数の増加を目指す	環境課	動植物との共生に向 けた取組状況を表す	整備数	A
3	【公園・緑地】 人が集う、自然と調和した まちをつくる	都市公園(公園・緑 地)の箇所数	市内の都市公園(公 園・緑地)の箇所数	上昇 ↗	45 か所	令和2 年度	45 か所	令和4 年度	47 か所	令和5 年度	47 か所	令和8 年度	95.7%	100.0%	目標達成	①屋代五区公園の新設や女沢公園の増設ならびに科野の里ふれあい公園の都市公園編入を実施。 ②公園の新設及び公園施設の更新等に伴う維持管理費の増加。 ③地域要望による公園の設置については、地域住民の合意形成を図るとともに、既存公園については、時代のニーズに対応した施設更新等を検討する。	都市計画課	都市公園の整備箇所 数状況を表す	整備箇所数の積み上げ	A
4	【循環型社会】 資源を大切に し、持続可能な循環型 社会をつくる	ごみのリサイクル率	(資源ごみ＋集団回収)÷(収集ごみ＋直接搬入ごみ＋事業ごみ＋集団回収)	上昇 ↗	15.6 %	令和 元年 度	16.4 %	令和4 年度	15.5 %	令和5 年度	17.0 %	令和8 年度	96.5%	91.2%	順調	①集団回収補助金等活用いただきリサイクルの推進を図った。 ②分別の種類が多いため、不適合物の混入が見受けられる。 ③引き続きリサイクルについて周知していく。	環境課	ごみの再資源化に 対する取組状況を表す	環境課で算出	A
		1人1日当たりのごみ 排出量	総ごみ数(収集ごみ＋直接搬入ごみ＋事業ごみ＋集団回収)÷行政人口÷365(1年間)	改善 ↘	782 g	令和 元年 度	765 g	令和4 年度	742 g	令和5 年度	780 g	令和8 年度	102.0%	105.1%	目標達成	①生ごみ堆肥化処理容器への補助金の周知による申請件数増加。 ②重量超過や不適合物の混入が見受けられる。 ③引き続きごみの分別やリサイクルについて周知し、排出量の減少に努める。	環境課	ごみの減量に 対する取組状況を表す	環境課で算出	D
		上水道(県営水道)の 普及率	県水の給水人口÷給水区域内人口	上昇 ↗	90.0 %	令和2 年度	90.1 %	令和4 年度	90.2 %	令和5 年度	92.0 %	令和8 年度	97.9%	98.0%	順調	①地域住民の良質かつ安定した飲料水を確保するため、配水管の新設に対し補助金を交付。(千曲市水道配水管整備事業補助金) ②地下水利用者が多く点在する地域があり水道事業への切り替えによるメリットがない。(水道料金が発生する) ③良質かつ安定した飲料水確保のため配水管を新設する対象者に補助金交付を行う。	上下水道課	安全・安心な給水のた めの取組状況を表す	上下水道課	A
		下水道(公共・農集) の水洗化率	公共下水道による水 洗化人口＋農業集落排水施設による水 洗化人口÷整備区域内人口×100	上昇 ↗	93.4 %	令和2 年度	94.0 %	令和4 年度	94.4 %	令和5 年度	96.2 %	令和8 年度	97.7%	98.1%	順調	①下水道への関心を深めてもらうためマンホール蓋の販売を実施。未接続事業所へのアンケート実施。 ②未接続者の接続支援策の検討。 ③未接続者への意向調査の拡大。	上下水道課	快適な生活環境を維持 するための下水道(公共・農集)の水 洗化状況を表す	上下水道課	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

基本目標7 一人ひとりが輝く、協働で創るまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	進捗状況	①令和5年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	達成率 計算式
1	【男女共同参画】 多様性を認め合い、自分らしく輝ける社会をつくる	市の審議会等における女性の参画率	市の審議会等における女性委員の割合	上昇 ↗	27.6 %	令和2年度	29.8 %	令和4年度	33.1 %	令和5年度	40.0 %	令和8年度	74.5%	82.8%	きわめて順調	①改選時期に合わせた女性登用の呼び掛けや、チェックシートの活用により、参画率を上げることができた。 ②目標値に達していない審議会等がある。 ③引き続き改選時期に合わせた女性登用の呼び掛けや、チェックシートの活用を行っていくとともに、R6年度から新たな取り組みとして女性登用率の低い担当課へ理事者にアリリングを実施する。	人権・男女共同参画課	まちづくりへの女性の参画を表す	条例・要綱等により設置されている審議会等の女性委員の参画状況調査(市独自調査)	A
		市民意識調査における設問「男女共同参画」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	市政における「男女共同参画」が満足であると捉えている市民の割合	上昇 ↗	25.2 %	令和3年度	26.4 %	令和4年度	28.4 %	令和5年度	30.0 %	令和8年度	88.0%	94.7%	きわめて順調	①セミナー等の開催により、啓発を図ることができた。 ②「男女共同参画」の認識が世代によって違う。 ③引き続きセミナー等を通じて最新の「男女共同参画」の認識をアップグレードし、啓発を図る。また、家庭などの身近なところから、男女共同参画社会づくりに取り組んでもらえるよう啓発を検討する。	人権・男女共同参画課	「男女共同参画」の市民意識の醸成・定着の進捗状況を表す	市民意識調査結果	A
2	【人権・平和】 すべての人々の人権が尊重され、平等で差別のないまちをつくる	各地区において地区人権教育研修会が開催されている割合	市内71区・自治会において「人権教育研修会」を開催した地区の割合	上昇 ↗	32 %	令和2年度	61.9 %	令和4年度	87.36 %	令和5年度	100 %	令和8年度	61.9%	87.4%	きわめて順調	①5月に新型コロナウイルス感染症が 5類に移行されたことで、昨年度に比べて実施する地区が増えた。また、説明会を再開したことで、実施の必要性を直接伝えることができた。 ②全地区での開催 ③引き続き目標値達成に向けて、説明会の開催やセミナーを通じ、地区人権の開催意義を伝えていく。	人権・男女共同参画課	地域での人権教育の推進状況を表す	「地区人権研修会」を実施した地区の割合	A
		市民意識調査における設問「人権・平和」の重要度調査で「重要である」又は「やや重要である」の割合	市政において「人権・平和」が重要であると捉えている市民の割合	上昇 ↗	81.2 %	令和3年度	81.9 %	令和4年度	79.2 %	令和5年度	85.0 %	令和8年度	96.4%	93.2%	順調	①市民の人権感覚を磨くため、人権を守る市民集会や地区人権研修会、セミナー等を実施した。 ②研修会やセミナー等への参加者が増えているため、更に参加者を増やし人権への理解を進めていく。 ③参加者を増やすため、研修会やセミナー等の内容を時代に合ったものに充実させる。	人権・男女共同参画課	「人権・平和」の市民意識の醸成・定着の進捗状況を表す	市民意識調査結果	A
3	【市民協働・市民交流】 みんなでつくる活力ある地域を目指す	市民意識調査における設問「市民協働・市民交流」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	市民意識調査における設問「市民協働・市民交流」の満足度調査で「そう思う」又は「ややそう思う」の割合	上昇 ↗	22.8 %	令和3年度	25.6 %	令和4年度	28.6 %	令和5年度	25.0 %	令和8年度	102.4%	114.4%	目標達成	①当課では各種市民団体の自立・自走を目的に協働事業提案制度等を活用し、支援している。コロナの影響がほぼなくなり、市民団体による各種イベントが増え、市民交流の場が増加した。 ②目標は達成しているが、協働事業の行政依存が課題となっている。 ③協働事業提案制度の見直しを進め、引き続き協働事業に取り組む。	市民生活課	「市民協働・市民交流」の市民意識の醸成、取組状況の進捗を表す	市民意識調査結果	A
		市民意識調査における設問「市民協働・市民交流」の重要度調査で「重要である」又は「やや重要である」の割合	市民意識調査における設問「市民協働・市民交流」の重要度調査で「重要である」又は「やや重要である」の割合	上昇 ↗	68.9 %	令和3年度	67.4 %	令和4年度	67 %	令和5年度	70.0 %	令和8年度	96.3%	95.7%	きわめて順調	①協働の事業の周知を様々な媒体を通じて行ったことにより、協働の認知度が高まったことが重要度に反映されたと考える。 ②目標は概ね達成しているが、市民自らが主体となって協働する意識の醸成が課題である。 ③引き続き協働事業を周知し、市民がまちづくりの担い手だということを根付かせることで重要度の底上げを行う。	市民生活課	「市民協働・市民交流」の市民意識の醸成、取組状況の進捗を表す	市民意識調査結果	A
		協働に関する支援制度を活用した事業申請件数	協働に関する支援制度を活用した事業申請件数	上昇 ↗	2 件	令和2年度	11 件	令和4年度	2 件	令和5年度	5 件	令和8年度	220.0%	40.0%	やや低調	①令和6年度実施事業について事業募集した。前年度に20周年事業として多く採択したため、令和6年度実施は応募が減少した。 ②市民団体の新たな活動のスタートアップを支援することを目的とした制度だが、新たに発足したり新たな取り組みをしたりする団体が少なく、現行の制度上、事業名を変えたと新たに最長3年間の補助を受けられるため、同一団体や関係団体が既存の事業名を変え補助を受け続ける状況が課題となっている。 ③他の協働事業(類似補助金)等を集約し制度全体の見直しを進める。	市民生活課	各種支援制度の実効性を表す	協働事業提案制度、クラウドファンディング活用支援制度などの申請件数	A
		(仮称)地域づくり協議会の数	地域住民が主体的に地域づくりを展開するための組織数	上昇 ↗	0 組織	令和3年度	0 組織	令和4年度	0 組織	令和5年度	4 組織	令和8年度	0.0%	0.0%	低調	①住民自治の意識高揚のため、区・自治会長等を対象とした講演会を開催し、併せて協議会の説明会も行った。 ②協議会の必要性に対する市民の認識が高まっていない。詳細な制度が確立していないことから十分説明できていない。 ③設立に向けた工程の説明など、取り組みやすい資料を提供する。また、希望する地域に出向き、地域説明会を開催する。さらに、住民自治の意識高揚に向けた講演会を開催する。	総合政策課	自治意識の醸成に向けた取組みの状況を表す	実数	A

第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「KPI」）一覧

4	【行政経営】 広域連携を進め、持続可能な行政運営を目指す	公共建築物の総量	公共建築物のうち100㎡以上の施設の総延床面積	改善 ↘	239,811 ㎡	令和2年度末	240,508 ㎡	令和4年度末	235,949 ㎡	令和5年度末	225,422 ㎡	令和8年度末	93.7%	95.5%	順調	①公共施設個別施設計画に基づき、施設の長寿命化や除却等を実施し、公共施設の総量縮減を図った。 ②機能が重複している、または行政以外でサービスの提供が可能な施設など、統廃合のために利用者の理解が必要な施設が複数存在する。 ③既存公共施設について、市で維持を継続すべき施設であるか、庁内で引き続き検討を進めていくとともに、総量縮減の必要性について市民への理解を深めていく。	財政課	公共施設等総合管理計画に沿った公共施設等の総量縮減の取組状況を表す	公共施設個別施設計画（公共建築物）を対象とする施設の延床面積	D
		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業数	長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける連携事業数	上昇 ↗	42 事業	令和3年度	42 事業	令和4年度	43 事業	令和5年度	47 事業	令和8年度	89.4%	91.5%	やや低調	①定期的に各課へビジョンにある未連携15事業への参加意向調査を行うとともに、新規事業の要望調査を実施した。 ②担当課への働きかけが不足している。 ③引き続き、意向調査を実施するとともに、担当課へ連携の可能性について個別に確認する。	総合政策課	広域連携の取組みについて進捗状況を表す	連携中枢都市圏ビジョン（構想）による長野市との連携事業数	A
		ふるさと千曲市応援寄附金（ふるさと納税）の寄附額	市への寄附金額	上昇 ↗	210,198,770 円	令和2年度	362,222,784 円	令和4年度	435,458,193 円	令和5年度	500,000,000 円	令和8年度	72.4%	87.1%	きわめて順調	①寄附金額増加のため、一定の供給量と品質を担保できる事業者の確保およびポータルサイトのイベント等に併せた効果的な広告に取り組んだ。またR5年10月の経費算入費用の範囲拡大に対応するため、寄付金額の大幅な改定を実施した。その他、能登半島地震に際しふるさと納税の代理寄附を行った。 ②人気商品の提供終了による寄付額減少への対応と、新基準に適合する経費の抑制が課題。 ③引き続き、お礼の品の供給量確保と品質向上及び商品の拡充、効果的な宣伝・広告が必要となる。	ふるさと振興課	自主財源確保策の成果を表す	ふるさと千曲市応援寄附金（ふるさと納税）の寄附額	A
		職員数	市の職員数	改善 ↘	476 人	令和3年4月1日	475 人	令和4年4月1日	472 人	令和5年4月1日	466 人	令和8年4月1日	98.1%	98.7%	低調	①事務量に応じた職員の適正配置に努めた。 ②今後、新戸倉体育館建設、屋代スマートインターチェンジ等の大型事業、国民スポーツ大会を控えているため職員の増員が必要である。 ③増員数を必要最低限とするため、引き続き事務量に応じた職員の適正配置に努める。	総務課	スリムな行政運営の取組状況を表す	職員名簿（職員構成表）の職員数	D
		行政手続のオンライン化推進	行政手続のオンライン化手続数及び申請件数	上昇 ↗	ながの電子申請手続数 件/年 10	令和2年度末	41 件/年	令和4年度末	61 件/年	令和5年度末	17 件/年	件/令和5年度末	241.2%	358.8%	目標達成	①当課にて申請様式の作成支援を行っている。令和5年度は新たに社会福祉施設等物価高騰対策支援金支給申請、各種講演会等の参加申し込みを公開した。 ②通年の手続は業務全体の見直しが伴うことがあり、オンライン化が進まない。 ③引き続き申請様式の作成支援を行いつつ、通年の手続についても先進地の事例を参考にしながら実装を図っていく。	情報政策課	利便性を向上させる行政サービスの推進を表す	「千曲市ICT活用ビジョン2023・DXアクションプラン」における重点事業	A
					ながの電子申請件数 件/年 7,506		14,381 件/年		11,072 件/年		8,256 件/年	令和5年度末	174.2%	134.1%	目標達成	①市HPへのリンク掲載、また、広報誌や当該手続の通知文書中に2次元コードを記載するなど、電子申請の利用を勧奨している。 ②保育園の欠席連絡が別システムに移行したことで、申請件数が減少している。 ③引き続き電子申請の利用を勧奨するとともに、申請件数が多く見込める手続の実装を進めていく。				
					マイナポータルびったりサービス手続数 15		16 件/年		32 件/年		27 件/年	令和5年度末	59.3%	118.5%	目標達成	①「特に国民の利便性向上に資する手続」とされた子育て・介護関係の手続を公開した。 ②①以外の手続について公開が進んでいない。 ③標準様式が整備されている手続に関して関係課に周知し、実装を図っていく。				
					マイナポータルびったりサービス件数 3		78 件/年		500 件/年		387 件/年	件/令和5年度末	20.2%	129.2%	目標達成	①市HPへのリンク掲載、また、広報誌や当該手続の通知文書中に2次元コードを記載するなど、電子申請の利用を勧奨している。 ②引越しOSS以外の申請件数が少ない。 ③引き続き電子申請の利用を勧奨するとともに、申請件数が多く見込める手続の実装を進めていく。				
		オープンデータの充実、活用の推進	オープンデータの公開件数	上昇 ↗	19 件	令和2年度末	19 件	令和4年度末	20 件	令和5年度末	50 件	令和5年度末	38.0%	40.0%	低調	①公開中のオープンデータを自治体標準データセットへ準拠するための更新を行っている。また、市循環バスの運行情報をGTFSデータとして公開し、Google Map等で経路検索が可能になっている。 ②未整備の自治体標準データセットの公開。 ③自治体標準データセットを中心にオープンデータの公開を進める。	情報政策課	ICT・官民データを活用した利便性の向上を表す	「千曲市ICT活用ビジョン2023・DXアクションプラン」における重点事業	A

【達成率計算式】

- A … 実績値/目標値 （指標値の増加を目標とする指標、現状維持を目標とする指標 ほか）
B … 実績値/基準値 （目標値が「基準を上回る」としているもの ほか）
C … 1-（実績値/基準値）（発生しない状態（0）を目標としているもの）
D … 目標値/実績値 （指標値の減少を目標とする指標）

成果指標計121指標のうち、
達成率前年比増:69指標（全体の57%）
達成率前年比同値:16指標（全体の13%）
達成率前年比減:36指標（全体の30%）